

えのもとだより



あけましておめでとうございます。地域の皆様には健やかな新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の位置づけは、これまで「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる 2 類相当）」としていましたが、昨年 5 月 8 日から「5 類感染症」になりました。これによりすべての医療機関で発熱・感冒症状を有する患者様の対応が求められました。そのため発熱患者様を院内で診療されている医療機関も多いです。しかし、発熱がなく咽頭痛などの軽度の感冒症状でも、新型コロナウイルスに感染されているケースがしばしば見られるため、5 類前と同様に軽度の感冒症状のみの場合も当院では、院外の駐車場スペースでの診察対応としております。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

さて昨年を振り返ってみますと、令和 4 年末から昨年の正月休み中に診察室の水回りの改装を行い、清潔な環境で新年をスタートしました。

- 1月 第 51 回日本消化器がん検診学会近畿地方会のパネルディスカッションで「コロナ禍で行う当院の大腸内視鏡検査の現状」について発表
- 2月 第 74 回金剛葛城山下一周駅伝大会の医務員として参加
- 4月 毎週木曜日に、非常勤として勤務して頂いておりました寺崎先生が退職され、奈良医大循環器内科の名古路先生が勤務
- 6月 御所市消防署の指導の下、避難訓練・消火器の使用方法など防火訓練を行う
- 9月 日本臨床肛門病学会 臨床肛門病認定医の資格を取得
- 12月 疼痛 WEB セミナーの座長を務める

昨年同様、内視鏡による胃がん検診枠の拡充により内視鏡による胃がん検診の件数は増加傾向にあり、検査総数は 700 件以上/年になる見込みです（12 月現在）。

また大腸内視鏡検査も近隣の施設の中では病院並みの件数であり、600 件以上/年になる見込みです（12 月現在）。

当院では CT（頭部・胸腹部など）・上下部消化管内視鏡などの検査により、昨年も治療可能な病気を発見することができ、多くの患者様の命を救うことができました。しかしごくわずかではありますが、発見が遅く尊い命を亡くした患者様もおられます。やはり種々の検査をされていない方は積極的に受けられることを強くお勧めします。

榎本医院は皆様の健康をお守りし安心して暮らしていけるよう、スタッフが一丸となって日々努力していく所存です。

年頭にあたり本年も皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

院長 榎本 泰三

あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症も収束を迎えたかのように、
いまだ当院では週に1人~2人の患者さんが発生しており、油断は大敵です。

私は高齢となりましたが、体調は良好で、日本糖尿病協会から
「糖尿病認定医」の資格を頂き、今年も頑張りたいと思っております。

よろしくご指導ご鞭撻くださいますようお願いいたします。

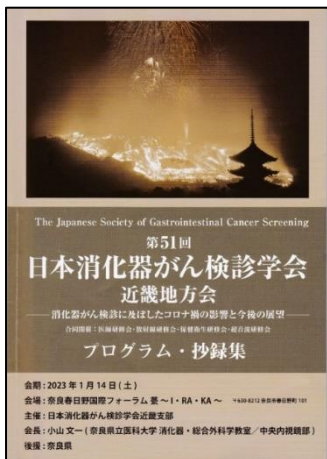
本年も皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。



名誉院長 榎本泰久

第51回日本消化器がん検診学会

疼痛WEBセミナー



診察室 水回り改修



第74回金剛葛城山下一周駅伝大会



消火・避難訓練

今シーズンは久々にインフルエンザが流行しています。
下図のようなことに留意しお過ごしください。

インフルエンザの予防

マスクの着用

- 人混みに出るときや せきが出る時など

室内の湿度・温度

- 湿度 50~70% 程度を保つ
- 温度 20~25℃ 程度を保つ

生活習慣

- 適度な運動
- 睡眠はしっかりと
- 食事はバランスよく



(NHK 健康chより)